



THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

2018年(平成30年)

日 産 工 業 新 聞

3月27日 火曜日

第19393号

発行所 日刊建設工業新聞社
〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10
電話03(3433)7151 http://www.deen.co.jp/
◎日刊建設工業新聞社 2018
〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10
電話03(3433)7151 mail:ed@deen.co.jp
編集 電話03-3433-7152 mail:sa@deen.co.jp
印刷 電話03-3433-7154 elpvo@deen.co.jp

明治維新150年と治水の歴史

竹林 征三

〈4〉「横田切れ口説き」が伝える惨状

が損むよ。彼処が抜ける切 番当時の惨状を良く伝えて れる切れると早貝吹いて、 いる。ほぼ同じ規模の横田 すわや切れるというより早 切れが1896(明治29) く、屏風倒しに押し込む水 年に起きている。燕市横田 は、神の恵みも仏の慈悲も、 地先に「横田切れ公園」が 今や尽きたる浮世かななど あり、道路を挟んだ所に と、二百間にも及びし切れ 「横田破堤記念碑」が立つ。 所、海的面か湖上の上か、 また、宝暦の横田切れ口説 嬢や娘が笠一蓋で、伊勢の きとほば似た「口説き節」 京のと因幡の峰よ、男子供 も作られている。

それらの水害よりはるか 悲惨なのがコレラと赤痢 の害である。1889(明 治22)より1895(明治28) 年の死者8万4700人に 対し、1896年8月まで の死者は13万5000人 と、9月9日付の新潟新聞 は伝えている。信濃川では 1896年と同じような規 模の水害が1897年と1 898(明治31)年にも起 こった。

全国各地の破堤箇所には破堤記念碑が建立されている。破堤しやすい箇所はおよそ決まっている。河川の湾曲部で水衝部などは過去何度も同じ箇所が破堤しており、浸水範囲もほぼ同じである。河川の保有している遺伝子ともいえる。信濃川では1734(享保19)より1882(明治15)年の150年間に破堤は100回を数え、ひとたび破堤すれば500〜600平方キ

の田畑と数千戸の村落がたちまち水底に没し、蒼海(そつかい)の様相と化した。世に伝えたのが1792(寛政4)年に作られた

の人々の苦しみ、惨状、悲劇を切々と情感あふれる叙情詩「口説き節」として後に別れ、独り行く身は野中過ぎ稼ぎ、親に離され妻子に別れ、死のうか 000以、浸水面積582 日には破堤が1271カ所 で発生。この延長は8万2 平方キ。冠水面積は山手 逃げ行く者は、老いの手を 引き子を懐に、慣れた故郷 の名残を捨てて、生きて帰 線内の約9倍、琵琶湖の86 %に上り、家屋流出・全壊 約1万戸、浸水約6万戸、 死傷者78人、人命救助99 人という大水害であっ

1896年の横田切れに ついては「洪水くどき」と 「流れの親子くどき」の口 説き節2編が知られてい る。いずれも作者不明とい う。この「洪水くどき」の 最後の数行を引用する。 (富士常葉大学名誉教授、 風土工学デザイン研究所理 事長)

そのうち現新潟県真珠市の「横田切れ」は有名で、江戸時代より1897(明治30)年に17回切れている。中でも1757(宝暦7)年には5月3日〜6月17日に4回も切れたといつ。その時

「横田切れ口説き」である。洪水被害の悲惨さを後世に伝える最大の文化遺産である。その一部を紹介する。

「時は宝暦丁の丑よ、見らるも怖ろし語るも笑止、次第次第に重なる水が、此処

さを知らず、大風で無識で悪知恵ばかり、廉恥や徳義を少しも知らず、勲位高官華美をは好み、上下奢りて気儘の自由、神や仏の誠なるで、坊主教員官吏の類、人の上座にすはらば尚も、教え守りて道を踏めよ、金銭ほしくて其の職取れば、本を忘れて末のみ走る…」 官吏やその類に対する風刺や批判が率直に歌われている。まるで現在にもそのまま通ずるところがあるように思える。横田切れのよ

「時は宝暦丁の丑よ、見らるも怖ろし語るも笑止、次第次第に重なる水が、此処

「時は宝暦丁の丑よ、見らるも怖ろし語るも笑止、次第次第に重なる水が、此処

「時は宝暦丁の丑よ、見らるも怖ろし語るも笑止、次第次第に重なる水が、此処

「時は宝暦丁の丑よ、見らるも怖ろし語るも笑止、次第次第に重なる水が、此処